

Bulk Forming

(一社) 日本塑性加工学会 鍛造分科会ニュース No. 59 2021年4月

1. 行事開催報告

各行事の講演プログラムは分科会 HP (<http://www.jstp.or.jp/commit/forging/index.html>) 等にてご確認ください。

1.1 第 171 回塑性加工学講座「鍛造加工の基礎と応用」(2020年12月1,2日, Web)

コロナ禍の影響により対面開催ではなく、Web 開催とした。本年度からは内容を見直し、10月開催の第 240 回塑性加工技術セミナーの講義を一部講座に組み込み 1 日目に 4 講義、2 日目は 3 講義で企画した。内容は実施事例をこれまでより多く入れた講義内容で開催した。参加者は 43 名で、セミナー同様に 20~30 代の方が多く受講され、盛況に終わった。

(文責：近藤靖之 (ニチダイ))

1.2 第 340 回塑性加工シンポジウム「類を見ない加工法による高付加価値への挑戦」(2021年1月25日, Web)

コロナ禍の影響により対面開催ではなく、Web 開催とした。新しい加工法を研究されている方々から講演を行っていただき、板成形、圧延、鍛造の領域を超えた融合や新しい考え方など、今後の塑性加工の広がりを期待できる内容の全 7 講演であった。総合討論も講師の方々と司会者の間で活発な議論がなされた。参加者は 45 名で、40 代の方が多く受講され、盛況に終わった。

(文責：近藤靖之 (ニチダイ))

1.3 第 48 回実務講座「高付加価値化を実現する鍛造技術とグローバル展開への取り組み」(2021年2月18日, Web)

三瓶運営委員 (トヨタ自動車(株)) が中心となり、対面開催での準備を昨年 4 月に開始した。新型コロナウイルス対策のため、Skype による打ち合わせを 4 回程度実施し、8 月初めには全ての講演者へ内諾を取り始め、順調に準備が進められた。しかし、8 月末に Web 開催も視野に入れることになり、工場見学は中止となった。そこで、講演者に対して Web 開催の内諾を取ることになった。さらに、10 月末には対面と Web のハイブリッド開催で準備することになった。最終的には、緊急事態宣言の発令等もあり、大津主査の判断によって Web 開催となった。開催の前に半日打ち合わせと 1 日の接続テスト等を実施するなど、準備に多くの時間を要することになった。

実務講座当日は、名古屋工業大学の広い会議室に運営委員 7 名が集まり Web の運営を実施した。参加者は 54 名となり、通常よりも若干少ない結果となった。運営において、多少トラブルは発生したが、当初心配された時間だけは予定のプログラム通りに進行した。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

(文責：中日本地区運営委員)



写真1 Web 講演の運営中の様子1 (実務講座)



写真2 Web 講演の運営中の様子2 (実務講座)



写真3 Web 講演中の近藤一義先生 (実務講座)

2. 行事開催予定

現時点での予定ですので、最新情報は分科会 HP (<http://www.jstp.or.jp/commit/forging/index.html>) 等にてご確認ください。

- ・ 2021年6月14日 総会・最優秀鍛造技術者賞贈賞式・第109回研究集会「金型材料・表面処理の現状と鍛造への応用」・研究班集会（大阪，Web同時配信）
- ・ 2021年6月21,22日 第244回塑性加工技術セミナー「鍛造入門セミナー（演習付き）」（Web開催）（主催：学会本部，実行：鍛造分科会）
- ・ 2021年9月12～15日 第54回国際冷間鍛造グループ総会（54th ICFG Plenary Meeting）（岐阜からWeb開催）（9月14日 鍛造分科会研究集会を合同開催予定）

会報「Bulk Forming」バックナンバー：<http://www.jstp.or.jp/commit/forging/bulkforming.html>

お願い：Bulk Forming No.23（1995～96年発行）を探しております。もしお持ちの方がおられましたら、幹事・松本（ryo@mat.eng.osaka-u.ac.jp）までご一報ください。

会報「Bulk Forming」への原稿募集

Bulk Forming への寄稿を随時、受け付けておりますので、ご協力、よろしくお願い申し上げます。